

専修以外の基礎科目

授業科目	講義題目	単位	担当教員氏名	開講 semester	開講曜日・講時	平成30年度以前入学 者 読替先授業科目
人文統計学	統計学の基礎	2	木村 邦博	3	前期水曜日2講時	
人文統計学	推測統計と多変量解析 の基礎	2	木村 邦博	4	後期水曜日2講時	
人文情報処理	コンピュータを活用した データ処理と情報発信	2	湊 信吾	3	前期金曜日2講時	
人文情報処理	コンピュータを活用した データ処理と情報発信	2	湊 信吾	4	後期金曜日2講時	
英語演習	英文読解演習(1)	2	三枝 和彦	3	前期火曜日4講時	
英語演習	英文読解演習(2)	2	三枝 和彦	4	後期火曜日4講時	
高等英文解釈法	英文解釈の技法	2	鈴木 亨	3	前期金曜日1講時	
高等英文解釈法	英文解釈の技法	2	鈴木 亨	4	後期金曜日1講時	
英語論文作成法	Academic Writing I	2	PHILLIPS MAX	3	前期水曜日2講時	
英語論文作成法	Academic Writing II	2	PHILLIPS MAX	4	後期水曜日2講時	
ギリシャ語	古典ギリシャ語入門 (1)	2	今井 誠二	3	前期水曜日5講時	
ギリシャ語	古典ギリシャ語入門 (2)	2	今井 誠二	4	後期水曜日5講時	
ギリシャ語	ホメロス『オデュッセイ ア』第2巻講読	2	嶺岸 佑亮	3	前期水曜日4講時	
ギリシャ語	ホメロス『オデュッセイ ア』第3巻講読	2	嶺岸 佑亮	4	後期水曜日4講時	
ラテン語	ラテン語原典講読	2	荻原 理	3	前期火曜日3講時	
ラテン語	ラテン語原典講読	2	荻原 理	4	後期火曜日3講時	
ラテン語	ラテン語初級1	2	講師(非)	3	前期金曜日3講時	
ラテン語	ラテン語初級2	2	宮崎 正美	4	後期金曜日3講時	
サンスクリット語	サンスクリット語基礎演 習I	2	笠松 直	3	前期木曜日3講時	
サンスクリット語	サンスクリット語基礎演 習II	2	笠松 直	4	後期木曜日3講時	
中国語	中国語中級作文	2	張 佩茹	3	前期水曜日2講時	

専修以外の基礎科目

授業科目	講義題目	単位	担当教員氏名	開講 semester	開講曜日・講時	平成30年度以前入学者 読替先授業科目
中国語	中国語中級作文	2	張 佩茹	4	後期水曜日2講時	
朝鮮語	韓国語入門	2	権 来順	3	前期水曜日2講時	
朝鮮語	韓国語初級	2	権 来順	4	後期水曜日2講時	
イタリア語	イタリア語上級(前期)	2	FONGARO ENRICO	3	前期水曜日4講時	
イタリア語	イタリア語初級(前期)	2	FONGARO ENRICO	3	前期水曜日5講時	
イタリア語	イタリア語中級(前期)	2	FONGARO ENRICO	3	前期木曜日4講時	
イタリア語	イタリア語上級	2	MARINUCCI LORENZO	4	後期水曜日4講時	
イタリア語	イタリア語初級	2	MARINUCCI LORENZO	4	後期木曜日3講時	
イタリア語	イタリア語中級	2	MARINUCCI LORENZO	4	後期木曜日4講時	
専門中国語	中国語中級読解	2	張 佩茹	3	前期火曜日3講時	
専門中国語	中国語中級読解	2	張 佩茹	4	後期火曜日3講時	
専門ドイツ語	ドイツ語読解力の養成 とドイツ語基礎の徹底	2	松崎 裕人	4	後期月曜日1講時	
専門ドイツ語	ドイツ語読解力の養成 とドイツ語基礎の徹底	2	松崎 裕人	4	後期月曜日1講時	
専門フランス語	フランス文学購読	2	平手 伸昭	3	前期月曜日4講時	
専門フランス語	Expression française orale et écrite	2	MEVEL YANN ERIC	4	後期水曜日5講時	
漢文講読	漢文訓読入門(文法 編)	2	高橋 亨	3	前期金曜日3講時	
漢文講読	漢文訓読入門(故事成 語編)	2	高橋 亨	4	後期金曜日3講時	

科目名：人文統計学／ Statistics

曜日・講時：前期 水曜日 2 講時

セメスター：3 単位数：2

担当教員：木村 邦博

コード：LB33205, 科目ナンバリング：LHM-PRI201J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：統計学の基礎

2. Course Title (授業題目) : Elementary Statistics

3. 授業の目的と概要：統計学の基礎を学ぶ。

特に、データ収集・測定の方法の考え方の基本を理解し、代表値や変動の測度の算出、探索的データ解析、クロス集計表など、記述統計学の手法を身につける。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要) : This course serves as an introductory course on elementary statistics for social data analysis, which should be useful for students majoring in humanities and social sciences. It covers various topics in descriptive statistics to help students understand the basics of measurement and data analysis, ranging from central tendency, measures of variation to crosstabulation.

5. 学修の到達目標：官庁統計や簡単な調査報告・論文を読めるようになるための基礎的な統計学について学ぶ。

6. Learning Goals(学修の到達目標) : Students learn about elementary statistical methods for interpreting academic and governmental reports that contain statistics and graphs.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

この科目の授業は Google Classroom (Meet を含む) を利用して実施します。
Classroom にアクセスし、クラスコードを入力してください。

1. データと測定 (1)
2. データと測定 (2)
3. 度数分布と比率 (1)
4. 度数分布と比率 (2)
5. 代表値と変動 (1)
6. 代表値と変動 (2)
7. グラフによるデータの表現 (1)
8. グラフによるデータの表現 (2)
9. クロス集計表 (1)
10. クロス集計表 (2)
11. 関連の測度 (1)
12. 関連の測度 (2)
13. 3 変数間の関係を考える (因果関係、相関関係、疑似相関) (1)
14. 3 変数間の関係を考える (因果関係、相関関係、疑似相関) (2)
15. まとめ

8. 成績評価方法：

レポート (10 回) による。

9. 教科書および参考書：

教科書：ボンシュテット&ノーキ (海野他訳) 『社会統計学—社会調査のためのデータ分析入門』 ハーベスト社

10. 授業時間外学習：教科書と補足資料 (Google Classroom で配付) で予習・復習をする。

教科書の各章末にある「一般の問題」のうち指定されたものについて、レポートを作成し、Google Classroom で提出する。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

- (1) 人文統計学 (推測統計と多変量解析の基礎) とあわせて受講することが望ましい。
- (2) 社会調査士資格認定標準科目 C に対応。
- (3) 受講希望者は初回の授業までに必ず Google Classroom 上で授業計画・実施方法等を確認すること。

科目名：人文統計学／ Statistics

曜日・講時：後期 水曜日 2 講時

セメスター：4 単位数：2

担当教員：木村 邦博

コード：LB43206, 科目ナンバリング：LHM-PRI201J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：推測統計と多変量解析の基礎

2. Course Title (授業題目)：Statistical Inference and Multivariate Analysis

3. 授業の目的と概要：より高度な統計学の基礎を学ぶ。

特に、確率分布と統計的推測の考え方や、平均・比率の差の検定・推定、分散分析、相関分析、回帰分析、パス解析などの手法について理解する。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course serves as an advanced course on statistics for social data analysis, which should be useful for students majoring in humanities and social sciences. It covers various topics in statistical inference and bivariate/multivariate analyses to help students understand the concepts of estimation, significance tests, analysis of variance, correlation, and regression.

5. 学修の到達目標：「統計学の基礎」をふまえて、より高度な統計的方法を理解するための基本事項について学ぶ。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：Students learn about advanced statistical methods including statistical inference and bivariate/multivariate analyses.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

この科目の授業は Google Classroom (Meet を含む) を利用して実施します。
Classroom にアクセスし、クラスコードを入力してください。

1. 統計的推測と仮説検定(1)：確率論の基礎
2. 統計的推測と仮説検定(2)：統計的推定
3. 統計的推測と仮説検定(3)：統計的検定の理論
4. 2 平均値の差の検定(1)
5. 2 平均値の差の検定(2)
6. 複数平均値の差の検定(1)
7. 複数平均値の差の検定(2)
8. 2 変数の関連の分析：クロス集計表における関連の測度
9. 2 変数の関連の分析：相関係数
10. 2 変数の関連の分析：偏相関、因果推論、生態学的誤謬
11. 回帰分析の基礎(1)
12. 回帰分析の基礎(2)
13. 重回帰分析(1)
14. 重回帰分析(2)
15. 因果モデルとパス分析の基礎

8. 成績評価方法：

レポート (10 回) による。

9. 教科書および参考書：

教科書：ボンシュテット&ノーキ (海野他訳) 『社会統計学—社会調査のためのデータ分析入門』 ハーベスト社

10. 授業時間外学習：教科書と補足資料 (Google Classroom で配付) で予習・復習をする。

教科書の各章末にある「一般の問題」のうち指定されたものについて、レポートを作成し、Google Classroom で提出する。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

- (1) 人文統計学 (統計学の基礎) とあわせて受講することが望ましい。
- (2) 社会調査士資格認定標準科目 D に対応。
- (3) 受講希望者は初回の授業までに必ず Google Classroom 上で授業計画・実施方法等を確認すること。

科目名：人文情報処理／ Information Processing for the Humanities

曜日・講時：前期 金曜日 2講時

Semester：3 単位数：2

担当教員：湊 信吾

コード：LB35208, 科目ナンバリング：LHM-HUI201J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：コンピュータを活用したデータ処理と情報発信

2. Course Title (授業題目)：Data processing and information providing with a computer

3. 授業の目的と概要：この授業ではExcelなどのアプリケーションやプログラミング言語を使用して、データの分析や可視化、情報発信を行えるようになるための基本的な情報処理技術を実習を通して習得してもらうことを目的としている。

以下の予定で講義および実習を行う。内容を変更する場合には授業中に連絡する。

- Excelでは表を使用したデータ処理について練習する。
- Rを使用したデータ解析の方法、グラフの表現について練習する。
- PowerPointを使用してプレゼンテーション用資料を作成する。
- インターネットで文書を公開するにはWebページを作成する。Webページを作るためのプログラミング言語としてHTML、CSSおよびJavaScriptの基本について学ぶ。
- SQLを使用したデータベースのプログラミングについて練習する。
- プログラミング言語Pythonを用いてプログラミングの練習を行う。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：The objective of the course is to familiarise students with data processing, data visualization, web programming, and python programming.

- Spreadsheets and VBA programming with MS Excel
- Introduction to data processing with R
- Creating MS Powerpoint slides for presentation
- Introduction to relational database and SQL programming
- Web programming with HTML, CSS, JavaScript
- Introduction to Python programming

5. 学修の到達目標：• Excelを使用した実習により手軽にデータ分析を行うことができるようになる。

- Rを使用して基本的なデータ解析やグラフの作成ができるようになる。
- PowerPointのスライド作成を通して発表用の資料を簡単に作るようになる。
- Webページを作ることで情報を外部に公開する方法について理解を深める。
- SQLのプログラミングを使用し汎用的にデータベースを操作できるようになる。
- プログラミング言語Pythonを使って簡単なプログラムを作れるようになる。

6. Learning Goals (学修の到達目標)：After completion of the course students are expected to be able to:

- Use Data processing and data visualization with MS Excel and R
- Create effective slides for presentation
- Understand the basic concepts of relational database and SQL programming
- Design web pages with HTML, CSS, JavaScript
- Create basic program in python

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. オリエンテーションとして授業の概要、評価の方法、テキストの閲覧方法、欠席時の対応について説明
2. Excel (表計算の基本)
3. Excel (グラフの作成)
4. Excel (テキストファイルの扱い方)
5. Excel (組み込み関数の応用)
6. Excel (VBAプログラミング)
7. PowerPointを使用したスライドの作成
8. Rを利用したデータ解析とグラフの作成
- 9～12. HTML、CSS、JavaScriptを使用したWebページの作成 (その1～その4)
- 13, 14. プログラミング言語Pythonを使用したプログラミング (基本とライブラリの利用)
15. SQLを使用したデータベースの操作

授業は前半、実習を交えながら解説を行う。後半、課題に取り組んでもらう。

8. 成績評価方法：

毎回、レポートを提出してもらう。レポートの内容および提出日時により評価を決定する。

9. 教科書および参考書：

毎週、インターネット経由でテキストを公開する。参考書についてはテキストおよび授業で紹介する。

1 0. 授業時間外学習：＜事前学習＞毎週、インターネット経由でテキストを公開するのでそれを見て予習をしてもらいたい。また、テキスト中の語句でわからないところがあれば参考書などを利用して勉強しておいてほしい。

＜事後学習＞実習後もう一度振り返り、再度試してみることで確実に授業で行ったことを身につけることができる。また、授業中に紹介した参考書でさらに勉強することで知識を深めることができる。

1 1. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、**実務・実践的授業**であることを示す。/Note:“○”Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

1 2. その他：なし

連絡用のメールアドレス、テキスト公開用の URL についてはオリエンテーション時に説明する。

科目名：人文情報処理／ Information Processing for the Humanities

曜日・講時：後期 金曜日 2講時

Semester：4 単位数：2

担当教員：湊 信吾

コード：LB45206, 科目ナンバリング：LHM-HUI201J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：コンピュータを活用したデータ処理と情報発信

2. Course Title (授業題目)：Data processing and information providing with a computer

3. 授業の目的と概要：この授業ではExcelなどのアプリケーションやプログラミング言語を使用して、データの分析や可視化、情報発信を行えるようになるための基本的な情報処理技術を実習を通して習得してもらうことを目的としている。

以下の予定で講義および実習を行う。内容を変更する場合には授業中に連絡する。

- Excelでは表を使用したデータ処理について練習する。
- Rを使用したデータ解析の方法、グラフの表現について練習する。
- PowerPointを使用してプレゼンテーション用資料を作成する。
- インターネットで文書を公開するにはWebページを作成する。Webページを作るためのプログラミング言語としてHTML、CSSおよびJavaScriptの基本について学ぶ。
- SQLを使用したデータベースのプログラミングについて練習する。
- プログラミング言語Pythonを用いてプログラミングの練習を行う。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：The objective of the course is to familiarise students with data processing, data visualization, web programming, and python programming.

- Spreadsheets and VBA programming with MS Excel
- Introduction to data processing with R
- Creating MS Powerpoint slides for presentation
- Introduction to relational database and SQL programming
- Web programming with HTML, CSS, JavaScript
- Introduction to Python programming

5. 学修の到達目標：• Excelを使用した実習により手軽にデータ分析を行うことができるようになる。

- Rを使用して基本的なデータ解析やグラフの作成ができるようになる。
- PowerPointのスライド作成を通して発表用の資料を簡単に作るようになる。
- Webページを作ることで情報を外部に公開する方法について理解を深める。
- SQLのプログラミングを使用し汎用的にデータベースを操作できるようになる。
- プログラミング言語Pythonを使って簡単なプログラムを作れるようになる。

6. Learning Goals (学修の到達目標)：After completion of the course students are expected to be able to:

- Use Data processing and data visualization with MS Excel and R
- Create effective slides for presentation
- Understand the basic concepts of relational database and SQL programming
- Design web pages with HTML, CSS, JavaScript
- Create basic program in python

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. オリエンテーションとして授業の概要、評価の方法、テキストの閲覧方法、欠席時の対応について説明
2. Excel (表計算の基本)
3. Excel (グラフの作成)
4. Excel (テキストファイルの扱い方)
5. Excel (組み込み関数の応用)
6. Excel (VBAプログラミング)
7. PowerPointを使用したスライドの作成
8. Rを利用したデータ解析とグラフの作成
- 9～12. HTML、CSS、JavaScriptを使用したWebページの作成 (その1～その4)
- 13, 14. プログラミング言語Pythonを使用したプログラミング (基本とライブラリの利用)
15. SQLを使用したデータベースの操作

授業は前半、実習を交えながら解説を行う。後半、課題に取り組んでもらう。

8. 成績評価方法：

毎回、レポートを提出してもらう。レポートの内容および提出日時により評価を決定する。

9. 教科書および参考書：

毎週、インターネット経由でテキストを公開する。参考書についてはテキストおよび授業で紹介する。

1 0. 授業時間外学習：＜事前学習＞毎週、インターネット経由でテキストを公開するのでそれを見て予習をしてもらいたい。また、テキスト中の語句でわからないところがあれば参考書などを利用して勉強しておいてほしい。

＜事後学習＞実習後もう一度振り返り、再度試してみることで確実に授業で行ったことを身につけることができる。また、授業中に紹介した参考書でさらに勉強することで知識を深めることができる。

1 1. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、**実務・実践的授業**であることを示す。/Note:“○”Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

1 2. その他：なし

連絡用のメールアドレス、テキスト公開用の URL についてはオリエンテーション時に説明する。

科目名：英語演習／ Seminar in Practical English

曜日・講時：前期 火曜日 4 講時

セメスター：3 単位数：2

担当教員：三枝 和彦

コード：LB32403, 科目ナンバリング：LHM-ENG201J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：英文読解演習（1）
2. Course Title (授業題目)：Seminar in reading skills in English (1)
3. 授業の目的と概要：英文を正確に読み、理解することができるようになるために、英語で書かれた文献を精読していく。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course aims to train students to read English passages correctly through reading texts written in English intensively.
5. 学修の到達目標：(1) 英文を正確に日本語に訳すことができるようになる。
(2) 読んだ英文を要約することができるようになる。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：1. Students will be able to translate English passages into Japanese correctly.
2. Students will be able to make a summary of what they read.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
第1回 オリエンテーション
第2回 Codes, Hackers and Cheats (1)
第3回 Codes, Hackers and Cheats (2)
第4回 Codes, Hackers and Cheats (3)
第5回 Love over the Wires (1)
第6回 Love over the Wires (2)
第7回 War and Peace in the Global Village (1)
第8回 War and Peace in the Global Village (2)
第9回 Information Overload (1)
第10回 Information Overload (2)
第11回 Decline and Fall (1)
第12回 Decline and Fall (2)
第13回 The Legacy of the Telegraph (1)
第14回 The Legacy of the Telegraph (2)
第15回 Epilogue
8. 成績評価方法：
授業への参加 (60%)、提出課題 (40%)
9. 教科書および参考書：
Tom Standage, The Victorian Internet, Walker & Company, 2007. (使用するテキストはデータを配付します)
10. 授業時間外学習：必ず予習をすること。また、復習をして知識の定着を図ること。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし

科目名：英語演習／ Seminar in Practical English

曜日・講時：後期 火曜日 4 講時

セメスター：4 単位数：2

担当教員：三枝 和彦

コード：LB42404, 科目ナンバリング：LHM-ENG201J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：英文読解演習（2）
2. Course Title (授業題目)：Seminar in reading skills in English (2)
3. 授業の目的と概要：英文を正確に読み、理解することができるようになるために、英語で書かれた文献を精読していく。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：This course aims to train students to read English passages correctly through reading texts written in English intensively.
5. 学修の到達目標：(1) 英文を正確に日本語に訳すことができるようになる。
(2) 読んだ英文を要約することができるようになる。
6. Learning Goals (学修の到達目標)：1. Students will be able to translate English passages into Japanese correctly.
2. Students will be able to make a summary of what they read.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 - 第1回 オリエンテーション
 - 第2回 What is English (1)
 - 第3回 What is English (2)
 - 第4回 Origins (1)
 - 第5回 Origins (2)
 - 第6回 Authorities (1)
 - 第7回 Authorities (2)
 - 第8回 Authorities (3)
 - 第9回 Standards (1)
 - 第10回 Standards (2)
 - 第11回 Varieties (1)
 - 第12回 Varieties (2)
 - 第13回 Global Englishes (1)
 - 第14回 Global Englishes (2)
 - 第15回 Why do we care?
8. 成績評価方法：

授業への参加 (60%)、提出課題 (40%)
9. 教科書および参考書：

Simon Horobin, The English Language. A Very Short Introduction. Oxford UP, 2018. (使用するテキストはデータを配付します)
10. 授業時間外学習：必ず予習をすること。また、復習をして知識の定着を図ること。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicatesthe practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし

科目名：高等英文解釈法／ Advanced English for Intensive Reading

曜日・講時：前期 金曜日 1 講時

セメスター：3 単位数：2

担当教員：鈴木 亨

コード：LB35101, 科目ナンバリング：LHM-ENG202J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：英文解釈の技法

2. Course Title (授業題目)：Reading Skills in English

3. 授業の目的と概要：様々なスタイルの英文テキスト（小説、エッセイ、評論、映画脚本、歌詞、新聞・雑誌記事など）を素材に、実践的な英語の読解力を養成する。文及びパラグラフにおける構造上の特徴やスタイルに注意して、正確な読解に取り組むことが求められる。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course exposes students to various types of reading materials in English such as novels, articles, essays, movie scripts, and song lyrics to broaden their reading experiences with advanced vocabulary and genre-specific characteristics. Students are required to read texts with careful attention to structural aspects of both sentences and paragraphs.

5. 学修の到達目標：文章の構成における論理的・構造的な特徴をきちんと把握し、様々な英文スタイルの特性に応じて、必要で正確な読解ができるようになる。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：This course is designed to develop reading skills to understand various types of texts written in English. Such reading skills will require a proper understanding of logical and structural aspects of the text at both the sentence level and paragraph level as well as genre-specific characteristics.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. オリエンテーション
2. Judy Moody Gets Famous
3. Akeelah and the Bee
4. What I Wish I Knew When I Was 20
5. How Pleasure Works (1)
6. How Pleasure Works (2)
7. How Pleasure Works (3)
8. State of the Union (1)
9. State of the Union (2)
10. Never Let Me Go (1)
11. Never Let Me Go (2)
12. Song Lyrics
13. Ignorance (1)
14. Ignorance (2)
15. まとめの解説と学期末試験

8. 成績評価方法：

学期末試験（オンライン授業の場合は学期末レポート）および授業ごとに提出してもらう予習課題（内容は適宜指示する）に基づいて、授業内容の理解度を総合的に評価する。

9. 教科書および参考書：

使用するテキストはあらかじめ配布する。

10. 授業時間外学習：テキストを読んで、その内容についての質疑応答や議論に備える。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

辞書を持参すること。

科目名：高等英文解釈法／ Advanced English for Intensive Reading

曜日・講時：後期 金曜日 1 講時

セメスター：4 単位数：2

担当教員：鈴木 亨

コード：LB45103, 科目ナンバリング：LHM-ENG202J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：英文解釈の技法

2. Course Title (授業題目)：Reading Skills in English

3. 授業の目的と概要：様々なスタイルの英文テキスト（小説、エッセイ、評論、映画脚本、歌詞、雑誌記事など）を素材に、実践的な英語の読解力を養成する。文及びパラグラフにおける構造上の特徴やスタイルに注意して、正確な読解に取り組むことが求められる。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course exposes students to various types of reading materials in English such as novels, articles, essays, movie scripts, and song lyrics to broaden their reading experiences with advanced vocabulary and genre-specific characteristics. Students are required to read texts with careful attention to structural aspects of both sentences and paragraphs.

5. 学修の到達目標：文章の構成における論理的・構造的な特徴をきちんと把握し、様々な英文スタイルの特性に応じて、必要で正確な読解ができるようになる。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：This course is designed to develop reading skills to understand various types of texts written in English. Such reading skills will require a proper understanding of logical and structural aspects of the text at both the sentence level and paragraph level as well as genre-specific characteristics.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. オリエンテーション
2. Thinking about Thinking
3. A Promised Land
4. The Fall of Language in the Age of English (1)
5. The Fall of Language in the Age of English (2)
6. 11/22/63 (1)
7. 11/22/63 (2)
8. What Money Can't Buy (1)
9. What Money Can't Buy (2)
10. Olive Kitteridge (1)
11. Olive Kitteridge (2)
12. Song Lyrics
13. Education (1)
14. Education (2)
15. まとめの解説と学期末試験

8. 成績評価方法：

学期末試験（オンライン授業の場合は学期末レポート）および授業ごとに提出してもらう予習課題（内容は適宜指示する）に基づいて、授業内容の理解度を総合的に評価する。

9. 教科書および参考書：

使用するテキストはあらかじめ配布する。

10. 授業時間外学習：テキストを読んで、その内容についての質疑応答や議論に備える。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

辞書を持参すること。

科目名：英語論文作成法／ Creative Writing

曜日・講時：前期 水曜日 2講時

セメスター：3 単位数：2

担当教員：PHILLIPS MAX

コード：LB33206, 科目ナンバリング：LHM-ENG203E, 使用言語：英語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：Academic Writing I

2. Course Title (授業題目)：Academic Writing I

3. 授業の目的と概要：This course is an introduction to the academic writing process. Students will learn: a) correct format for writing essays, b) organization for different essay types, c) strategies for: pre-writing, revising and proofreading, and improving the readability of their writing and d) correct sentence and paragraph structures that meets the expectations of their target audience.

The content of lectures will be as listed (elsewhere), however you can expect to submit some writing every week, except for the first class and on workshop days.

NOTE about Distance Education classes vs. Traditional classes - due to the nature of distance education classes, I am developing 2 'streams' which are similar in content, but different in method of teaching. The rationale is that if classes were to begin traditionally (or vice versa) and then switch to the other, the transition would be seamless. As such, it's reasonable to expect some challenges in how classes are conducted. If you have any concerns (or suggestions for improvement), you can contact me at anytime via email and I will entertain your ideas - however I may not implement them, for various reasons.

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：This course is an introduction to the academic writing process. Students will learn: a) correct format for writing essays, b) organization for different essay types, c) strategies for: pre-writing, revising and proofreading, and improving the readability of their writing and d) correct sentence and paragraph structures that meets the expectations of their target audience.

The content of lectures will be as listed (elsewhere), however you can expect to submit some writing every week, except for the first class and on workshop days.

NOTE about Distance Education classes vs. Traditional classes - due to the nature of distance education classes, I am developing 2 'streams' which are similar in content, but different in method of teaching. The rationale is that if classes were to begin traditionally (or vice versa) and then switch to the other, the transition would be seamless. As such, it's reasonable to expect some challenges in how classes are conducted. If you have any concerns (or suggestions for improvement), you can contact me at anytime via email and I will entertain your ideas - however I may not implement them, for various reasons.

5. 学修の到達目標：Students will learn that because English writing is a process, not a product (although the process leads to a product), organizational expectations must be met. The course helps students meet those expectations by teaching how to logically organize writing

6. Learning Goals (学修の到達目標)：Students will learn that because English writing is a process, not a product (although the process leads to a product), organizational expectations must be met. The course helps students meet those expectations by teaching how to logically organize writing.

7. 授業の内容・方法と進捗予定：

- 1) Course Introduction; Hand-written & Types Formats; Plagiarism; Capitalization Rules
- 2) Essay 1 Assignment; Introduction to English Writing; Pre-writing Strategies
- 3) Basic Sentence Structure; Parallelism Rules
- 4) Writing an Outline; Basic Paragraph Structure
- 5) Basic Essay Structure
- 6) Introduction to Peer Review, Revision, and Proofreading
- 7) Workshop 1 (Rough Draft of Essay 1); Essay 2 Assignment
- 8) Introduction and Conclusion Writing; Essay 3 Assignment
- 9) Understanding Logic, Audience, Tone; Organization 1 - Compare/Contrast
- 10) Organization 2 - Chronological Order
- 11) Organization 3 - Cause/Effect
- 12) Workshop 2 (E2 one-on-one)
- 13) Effective Thesis Statement Writing; Gender Neutral Language
- 14) Workshop 3
- 15) Semester Exam

8. 成績評価方法：

Final grade to be determined by: homework, score earned on submitted essays, and workshop participation.

9. 教科書および参考書：

Course syllabus based on "Discoveries in Academic Writing," by Barbara Harris Leonhard and "Teaching Academic Writing" by Eli Hinkel.

10. 授業時間外学習： Attendance is mandatory for all classes. You will be automatically expelled if you have more than 2 unexcused absences. No auditors permitted.

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

科目名：英語論文作成法／ Creative Writing

曜日・講時：後期 水曜日 2講時

セメスター：4 単位数：2

担当教員：PHILLIPS MAX

コード：LB43207, 科目ナンバリング：LHM-ENG203E, 使用言語：英語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：Academic Writing II

2. Course Title (授業題目)：Academic Writing II

3. 授業の目的と概要：This course is a continuation of AWI, therefore, the prerequisite for entering AWII is satisfactory completion of AWI. (Requests for a waiver must be made to the professor prior to admission to the course.) Student will study the research process and how to organize research into a cohesive, logically organized paper, with a special focus on proper format and citation of source material.

The class is a mix of lecture and 'in-class' assignments designed to help you THINK. Deep thinking about something you WILL do is far more difficult than simply putting a pen to paper and writing whatever comes to your mind (although that, too, is challenging - if you've never done it).

Assuming classes are conducted as 'distance education' type classes, you can expect a mix of pre-recorded lectures and live classes. [If classes are conducted traditionally (live and in a classroom) the contents will be similar, but naturally, the method of teaching will be different.

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：Students will do original research and write a fully documented research paper.

5. 学修の到達目標：Students will do original research and write a fully documented research paper.

6. Learning Goals (学修の到達目標)：Students will do original research and write a fully documented research paper.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

- 1) Course Introduction; The Research Process
- 2) Choosing a Topic; Identifying Potential Resources
- 3) Gathering Source Material - Evaluating Sources
- 4) Note-Taking
- 5) Using the Internet for Research
- 6) Considering Organization
- 7) How to Organize Notes / Write Outline
- 8) Workshop 1 (Outline - rough draft)
- 9) Integrating Source Material; First Draft Writing
- 10) Understanding Citations; Documenting Sources In-text
- 11) Paper Format; Documenting Sources Post-text
- 12) Workshop 2 (rough draft of main body)
- 13) Writing Introduction and Conclusion for Research Papers
- 14) Writing Workshop 3 (rough draft of paper)
- 15) Abstract Writing

8. 成績評価方法：

Final grade to be determined by: research paper, and workshop participation.

9. 教科書および参考書：

Course syllabus based, in part, on: MLA Style Manual and Guide to Scholarly Publishing 3rd Edition.

10. 授業時間外学習：Attendance is mandatory for all classes. You will be automatically expelled from the course if you have more than 2 unexcused absences. No auditors.

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

科目名：ギリシャ語／ Greek

曜日・講時：前期 水曜日 5 講時

セメスター：3 単位数：2

担当教員：今井 誠二

コード：LB33502, 科目ナンバリング：LHM-OFL201J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：古典ギリシャ語入門（1）
2. Course Title (授業題目)：Elementary Grammar of classical Greek I
3. 授業の目的と概要：古典ギリシャ語のアルファベットの学習から始めて、名詞、形容詞、動詞等の必要最小限の文法事項を習得する。基本的に教科書に沿って進めていくが、適宜順序を変える。重要な文法事項については、資料などを補いつつ解説する。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：To learn basic grammar of ancient Greek, starting with alphabet.
5. 学修の到達目標：古典ギリシア語の文法の基礎を習得し、簡単な文章を訳せるようになる。
6. Learning Goals (学修の到達目標)：To be able to translate simple sentences.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 1. 文字と発音
 2. アクセント
 3. 第一第二変化の名詞および形容詞、定冠詞
 4. 第一変化名詞および第一第二変化の形容詞
 5. ω 動詞直説法能動相現在および未来
 6. ω 動詞直説法能動相未完了過去およびアオリスト、不定詞を用いた間接話法
 7. ω 動詞直説法能動相第二アオリスト、結果文、時の表現
 8. 前接辞と後接辞、疑問代名詞と不定代名詞、動詞 ε ι μ ι と φ η μ ι、所有の与格
 9. 第三変化名詞子音幹、限定の対格および与格
 10. 第三変化名詞子音幹、母音融合を行う第一第二変化形容詞
 11. 第三変化名詞母音幹、関係代名詞
 12. 指示代名詞、強意代名詞 α υ τ ο ς
 13. 形容詞および副詞の比較、η δ ι ω ν の変化
 14. 母音融合動詞
 15. 流音鼻音幹動詞未来、人称代名詞
8. 成績評価方法：

出席 60%、毎回の授業の課題達成度 40%
9. 教科書および参考書：

水谷智洋著『古典ギリシャ語初歩』岩波書店 1990 年発行、3500 円+税
10. 授業時間外学習：語形変化を何度も書いて復習し、仕組みを理解すること。定期的に簡単な書き取りテストを行って復習がなされているかを点検する。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicatesthe practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし

科目名：ギリシャ語／ Greek

曜日・講時：後期 水曜日 5 講時

セメスター：4 単位数：2

担当教員：今井 誠二

コード：LB43502, 科目ナンバリング：LHM-OFL201J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：古典ギリシャ語入門（2）
2. Course Title (授業題目)：Introduction to Ancient Greek (2)
3. 授業の目的と概要：前期に引き続き、古典ギリシャ語の文法の初歩の学びを深める。基本的には教科書に沿って進めていくが、適宜順序を変える。重要な文法事項については資料を追加して解説する。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：As a continuation of the previous course, this course will allow students expand their basic knowledge of the ancient Greek grammar. The course is textbook-based, but it will not necessarily follow the chapter order in a linear way. Additional materials will be used to elaborate on the most salient points.
5. 学修の到達目標：古典ギリシア語の文法の基礎を習得し、簡単な文章を訳せるようになる。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：By the end of the course, students will have sufficient knowledge of basic ancient Greek grammar to be able to translate simple sentences.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 - ω 動詞の能動相現在・未来・第2アオリストの分詞、分詞の用法
 - ω 動詞の能動相アオリストの分詞、μ ι 動詞の能動相現在および第2アオリストの分詞
 - 接続法能動相現在およびアオリスト、主文における接続法の用法、接続法を用いた条件文
 - 希求法能動相現在・未来・アオリスト、主文における希求法の用法、目的文
 - 希求法を用いた条件文、ο τ ι , ω ς によって導入される間接話法、話法転換時の動詞の法の変化
 - 直接法中・受動相現在、直接法中・受動相未来、能動相欠如動詞、危惧・恐怖を表す文
 - 直接法中・受動相未完了過去、直接法中・受動相第2アオリスト、再帰代名詞、所有代名詞、配慮・努力を表す文
 - 直接法中・受動相アオリスト、事実と反する仮定の条件文、過去の仮定を表す文
 - 接続法中・受動相現在、接続法中・受動相アオリスト、ε ω ς , π ρ ι ν の用法
 - 希求法中・受動相現在、希求法中・受動相アオリスト・未来
 - 受動相アオリストおよび未来、行為者を表す υ π ο + 属格、手段・方法の与格
 - 能動相完了・過去完了・未来完了
 - 中・受動相完了、過去完了、未来完了、行為者の与格
 - 命令法：ω 動詞
 - 命令法：μ ι 動詞
 - μ ι 動詞型の変化をする第2アオリスト、動形容詞、動詞の主要部分
 - 数詞
8. 成績評価方法：
 - 出席 60%、毎回の授業の課題達成度 40%
9. 教科書および参考書：
 - 水谷智洋著『古典ギリシャ語初歩』岩波書店 1990 年発行、3500 円+税
10. 授業時間外学習：語形変化を何度も書いて復習し、仕組みを理解すること。定期的に簡単な書き取りテストを行って復習がなされているかを点検する。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
 - ※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicatesthe practicalbusiness
 - 《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし

科目名：ギリシャ語／Greek

曜日・講時：前期 水曜日 4 講時

セメスター：3 単位数：2

担当教員：嶺岸 佑亮

コード：LB33409, 科目ナンバリング：LHM-OFL201J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：ホメロス『オデュッセイア』第 2 巻講読
2. Course Title (授業題目)：Reading the 2nd Book of Homer's Odyssey
3. 授業の目的と概要： 授業の目的と概要：ホメロスの『オデュッセイア』は、古代ギリシア文学最古のテキストの一つです。この作品は、古代ギリシア人のものの見方や文化に対して決定的な影響を与えただけでなく、近現代に至るまでヨーロッパ世界に対して大きな影響を与え続けています。
本学は第 2 巻のはじめからギリシア語原典で読解します。受講者には、各回ごとに数行ずつ日本語に訳出してもらいます。その作業を通じて、ギリシア語の読解力を身に付けるとともに、西欧文化の源泉に直に触れることで文学、歴史、哲学等の人文文学に対してより幅広い視座を獲得することを目指します。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)： Homer's Odyssey is one of the oldest text in der Greek literature. This epic had not only definitive influence on Greeks' view of things and their culture, but has so great influence on the Western civilization up to modern times.
In this seminar we are going to read the second Book of this Homeric great epic in its original. Students are expected to translate few verses from Greek into Japanese. Through that work we aim to gain the ability to read Greek text by oneself, and to gain the wide point of view to human science such as literature, history and philosophy by the direct contact with the origin of the Western civilization
5. 学修の到達目標：・ホメロスの叙事詩を自力で訳すことが出来るようになる
・叙事詩特有の語形変化になれ、正しく分析することが出来るようになる
・辞書・文法書を活用することが出来るようになる
6. Learning Goals(学修の到達目標)：・We aim to gain the ability to translate Homer's epic into Japanese by oneself
・We aim to get accustomed to the special conjugation and declension of the epic and so to be able to analyse correctly
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 - ・第 1 回：イントロダクション（演習の内容と方法、ホメロスの叙事詩について）
 - ・第 2 回：『オデュッセイア』第 2 巻読解 1～30 行
 - ・第 3 回：『オデュッセイア』第 2 巻読解 31～60 行
 - ・第 4 回：『オデュッセイア』第 2 巻読解 61～90 行
 - ・第 5 回：『オデュッセイア』第 2 巻読解 91～120 行
 - ・第 6 回：『オデュッセイア』第 2 巻読解 121～150 行
 - ・第 7 回：『オデュッセイア』第 2 巻読解 150～180 行
 - ・第 8 回：『オデュッセイア』第 2 巻読解 181～210 行
 - ・第 9 回：『オデュッセイア』第 2 巻読解 210～250 行
 - ・第 10 回：『オデュッセイア』第 2 巻読解 251～290 行
 - ・第 11 回：『オデュッセイア』第 2 巻読解 291～330 行
 - ・第 12 回：『オデュッセイア』第 2 巻読解 331～370 行
 - ・第 13 回：『オデュッセイア』第 2 巻読解 371～410 行
 - ・第 14 回：『オデュッセイア』第 2 巻読解 411～最後
 - ・第 15 回：全体のまとめ
8. 成績評価方法：
出席および平常点（毎回の訳読とその準備、文法的分析、討論への参加）
9. 教科書および参考書：
教科書および参考書：テキストは講師がコピーを配布します。辞書は、Lidelle and Scott's Greel-English Lexicon, Oxford の abridged edition を使用します。[Text will be prepared by lector. We use abridged edition of Lidelle and Scott's Greel-English Lexicon, Oxford]
10. 授業時間外学習：授業時間外学修：各回の予習として 5～15 行程度の予習が必要です [Students are required to prepare 5 to 15 verses for each class]
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicatesthe practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし

科目名：ギリシャ語／Greek

曜日・講時：後期 水曜日 4 講時

セメスター：4 単位数：2

担当教員：嶺岸 佑亮

コード：LB43408, 科目ナンバリング：LHM-OFL201J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：ホメロス『オデュッセイア』第 3 巻講読
2. Course Title (授業題目)：Reading the 3rd Book of Homer's Odyssey
3. 授業の目的と概要： 授業の目的と概要：ホメロスの『オデュッセイア』は、古代ギリシア文学最古のテキストの一つです。この作品は、古代ギリシア人のものの見方や文化に対して決定的な影響を与えただけでなく、近現代に至るまでヨーロッパ世界に対して大きな影響を与え続けています。
本学は前期からの続きで、第 3 巻をギリシア語原典で読解する予定です。受講者には、毎回数行ずつ日本語に訳出してもらいます。その作業を通じて、ギリシア語の読解力を身に付けるとともに、西欧文化の源泉に直に触れることで文学、歴史、哲学等の人文学に対してより幅広い視座を獲得することを目指します。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)： Homer's Odyssey is one of the oldest text in der Greek literature. This epic had not only definitive influence on Greeks' view of things and their culture, but has so great influence on the Western civilization up to modern times.
In this seminar we are going to read the 3rd Book of this Homeric great epic in its original. Students are expected to translate few verses from Greek into Japanese. Through that work we aim to gain the ability to read Greek text by oneself, and to gain the wide point of view to human science such as literature, history and philosophy by the direct contact with the origin of the Western civilization.
5. 学修の到達目標：・ホメロスの叙事詩を自力で訳すことが出来るようになる
・叙事詩特有の語形変化になれ、正しく分析することが出来るようになる
・辞書・文法書を活用することが出来るようになる
6. Learning Goals(学修の到達目標)：・We aim to gain the ability to translate Homer's epic into Japanese by oneself
・We aim to get accustomed to the special conjugation and declension of the epic and so to be able to analyse correctly
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 - ・第 1 回：イントロダクション（演習の内容と方法、ホメロスの叙事詩について）
 - ・第 2 回：『オデュッセイア』第 3 巻読解 1～30 行
 - ・第 3 回：『オデュッセイア』第 3 巻読解 31～60 行
 - ・第 4 回：『オデュッセイア』第 3 巻読解 61～90 行
 - ・第 5 回：『オデュッセイア』第 3 巻読解 91～120 行
 - ・第 6 回：『オデュッセイア』第 3 巻読解 121～150 行
 - ・第 7 回：『オデュッセイア』第 3 巻読解 150～180 行
 - ・第 8 回：『オデュッセイア』第 3 巻読解 181～210 行
 - ・第 9 回：『オデュッセイア』第 3 巻読解 210～250 行
 - ・第 10 回：『オデュッセイア』第 3 巻読解 251～290 行
 - ・第 11 回：『オデュッセイア』第 3 巻読解 291～330 行
 - ・第 12 回：『オデュッセイア』第 3 巻読解 331～370 行
 - ・第 13 回：『オデュッセイア』第 3 巻読解 371～410 行
 - ・第 14 回：『オデュッセイア』第 3 巻読解 411～最後
 - ・第 15 回：全体のまとめ
8. 成績評価方法：
出席および平常点（毎回の訳読とその準備、文法的分析、討論への参加）
9. 教科書および参考書：
教科書および参考書：テキストは講師がコピーを配布します。辞書は、Lidelle and Scott's Greel-English Lexicon, Oxford の abridged edition を使用します。[Text will be prepared by lector. We use abridged edition of Lidelle and Scott's Greel-English Lexicon, Oxford]
10. 授業時間外学習：各回の予習として 5～15 行程度の予習が必要です [Students are required to prepare 5 to 15 verses for each class]
 11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicatesthe practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
 12. その他：なし

科目名：ラテン語／ Latin

曜日・講時：前期 火曜日 3 講時

セメスター：3 単位数：2

担当教員：荻原 理

コード：LB32306, 科目ナンバリング：LHM-OFL202J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：ラテン語原典講読

2. Course Title (授業題目)：Advanced Latin

3. 授業の目的と概要：語学上比較的やさしいラテン語の文章を、文法上の解説を受けながら、ゆっくり丁寧に読んでいきます。テキストの音読、語形変化の練習にも時間を取ります。そうして文法事項を確認・学習し、ラテン語に馴れていきます。遠慮なく、積極的に質問してください。

読むテキストは、参加者の希望・関心を訊きながら、教員が選定します。ジャンルの異なる複数のテキストを読むことになると思います。

参考までに、過去数年に取り上げたテキストとして、初学者向けに現代人が書いた短い物語、カエサル『ガリア戦記』、キケロ『運命について』、デカルト『省察』、アウグスティヌス『告白』、ルクレティウス『事物の本性について』があります(ゆっくり進みますので、どれも少ししか読めませんでした)。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：We shall read a few linguistically easier Latin texts slowly, with the instructor providing detailed grammatical explanations. We shall also practice the inflections or declensions of some words that we come across. Thereby we shall get used to the language, especially grammar. The instructor will decide on what texts to read by considering the attendants' interests.

5. 学修の到達目標：授業中読んだ文章については、ラテン語を読みながら文章の意味を捉えられるようになり、また、各語についても構文についても、文法的に説明できるようになる。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：To become able to comprehend the meaning, and give grammatical explanation, of the texts that we shall have read

7. 授業の内容・方法と進度予定：

初回はイントロ。以降、テキストを丁寧に読んでいく。

最初の数回分のテキスト(テキスト1)は教員が選ぶが、参加者の関心に応じてさらにテキストを選定していく(テキスト2以降)。

第1回：イントロ

第2回：テキスト1 数行 たとえば1-3行であろうか

第3回：テキスト1 次の数行 たとえば4行-7行途中でもあろうか

第4回：テキスト1 その次の数行 たとえば7行途中-11行でもあろうか

第5回：テキスト1 さらにその次の数行 たとえば11行-18行でもあろうか

第6回：テキスト1 18-21行 ならびに テキスト2 1-3行 でもあろうか

第7回：テキスト1 22行-27行 ならびに テキスト2 4-6行 でもあろうか

第8回：テキスト2 7-15行 でもあろうか

第9回：テキスト2 16-23行 でもあろうか

第10回：テキスト2 24-27行 ならびに テキスト3 1-4行 でもあろうか

第11回：テキスト2 28-32行 ならびに テキスト3 5-11行 でもあろうか

第12回：テキスト2 33-36行 ならびに テキスト3 12-17行 でもあろうか

第13回：テキスト3 18-21行 ならびに テキスト4 1-4行 でもあろうか

第14回：テキスト3 22-27行 ならびに テキスト4 5-10行 でもあろうか

第15回：テキスト4 11-22行 でもあろうか

8. 成績評価方法：

授業時のパフォーマンスによる

9. 教科書および参考書：

松平千秋・国原吉之助『新ラテン文法』(南江堂、1968年初版、改訂1979年)を各自入手して下さい。読むテキストはオンラインで提供します。

10. 授業時間外学習：復習(とくに、意味を捉えながらの音読)。次回読む予定の箇所の下調べ(できる範囲で)。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

ラテン語初等文法を一通り学んでいることが参加の条件です(覚え残しが多少あっても構いません)。

科目名：ラテン語／ Latin

曜日・講時：後期 火曜日 3講時

セメスター：4 単位数：2

担当教員：荻原 理

コード：LB42306, 科目ナンバリング：LHM-OFL202J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：ラテン語原典講読

2. Course Title (授業題目)：Advanced Latin

3. 授業の目的と概要：語学上比較的やさしいラテン語の文章を、文法上の解説を受けながら、ゆっくり丁寧に読んでいきます。テキストの音読、語形変化の練習にも時間を取ります。そうして文法事項を確認・学習し、ラテン語に馴れていきます。遠慮なく、積極的に質問してください。

読むテキストは、参加者の希望・関心を訊きながら、教員が選定します。ジャンルの異なる複数のテキストを読むことになると思います。

参考までに、過去数年に取り上げたテキストとして、初学者向けに現代人が書いた短い物語、カエサル『ガリア戦記』、キケロ『運命について』、デカルト『省察』、アウグスティヌス『告白』、ルクレティウス『事物の本性について』があります(ゆっくり進みますので、どれも少ししか読めませんでした)。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：We shall read a few linguistically easier Latin texts slowly, with the instructor providing detailed grammatical explanations. We shall also practice the inflections or declensions of some words that we come across. Thereby we shall get used to the language, especially grammar. The instructor will decide on what texts to read by considering the attendants' interests.

5. 学修の到達目標：授業中読んだ文章については、ラテン語を読みながら文章の意味を捉えられるようになり、また、各語についても構文についても、文法的に説明できるようになる。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：To become able to comprehend the meaning, and give grammatical explanation, of the texts that we shall have read

7. 授業の内容・方法と進度予定：

初回はイントロ。以降、テキストを丁寧に読んでいく。

最初の数回分のテキスト(テキスト1)は教員が選ぶが、参加者の関心に応じてさらにテキストを選定していく(テキスト2以降)。

第1回：イントロ

第2回：テキスト1 数行 たとえば1-3行であろうか

第3回：テキスト1 次の数行 たとえば4行-7行途中でもあろうか

第4回：テキスト1 その次の数行 たとえば7行途中-11行でもあろうか

第5回：テキスト1 さらにその次の数行 たとえば11行-18行でもあろうか

第6回：テキスト1 18-21行 ならびに テキスト2 1-3行 でもあろうか

第7回：テキスト1 22行-27行 ならびに テキスト2 4-6行 でもあろうか

第8回：テキスト2 7-15行 でもあろうか

第9回：テキスト2 16-23行 でもあろうか

第10回：テキスト2 24-27行 ならびに テキスト3 1-4行 でもあろうか

第11回：テキスト2 28-32行 ならびに テキスト3 5-11行 でもあろうか

第12回：テキスト2 33-36行 ならびに テキスト3 12-17行 でもあろうか

第13回：テキスト3 18-21行 ならびに テキスト4 1-4行 でもあろうか

第14回：テキスト3 22-27行 ならびに テキスト4 5-10行 でもあろうか

第15回：テキスト4 11-22行 でもあろうか

8. 成績評価方法：

授業時のパフォーマンスによる

9. 教科書および参考書：

松平千秋・国原吉之助『新ラテン文法』(南江堂、1968年初版、改訂1979年)を各自入手して下さい。読むテキストはオンラインで提供します。

10. 授業時間外学習：復習(とくに、意味を捉えながらの音読)。次回読む予定の箇所の下調べ(できる範囲で)。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

ラテン語初等文法を一通り学んでいることが参加の条件です(覚え残しが多少あっても構いません)。

科目名：ラテン語／ Latin

曜日・講時：前期 金曜日 3講時

セメスター：3 単位数：2

担当教員：

コード：LB35303, 科目ナンバリング：LHM-OFL202J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：ラテン語初級 1
2. Course Title (授業題目)：Elementary Latin 1
3. 授業の目的と概要：ラテン語文法の基本及び基礎的な語彙を習得する。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：Acquisition of basic knowledge of Latin grammar and vocabulary
5. 学修の到達目標：動詞の活用と名詞の格変化を習得する。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：To master the conjunctions of verbs and declentions of nouns
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 - 1) イントロダクション、発音、動詞活用 (1)
 - 2) 名詞変化 (1)、語順
 - 3) 名詞変化 (2)
 - 4) 形容詞変化 (1)
 - 5) 動詞活用 (2)
 - 6) 前置詞、動詞活用 (3)
 - 7) 疑問文、動詞活用 (4)
 - 8) 名詞変化 (3)
 - 9) 動詞活用 (5)
 - 10) 人称・再帰代名詞
 - 11) 形容詞変化 (2)、動詞活用 (6)
 - 12) 動詞活用 (7)
 - 13) 指示代名詞
 - 14) 完了分詞、動詞活用 (8)
 - 15) 動詞活用 (9)
8. 成績評価方法：

出席及び平常点 (練習問題の出来具合など) による。
9. 教科書および参考書：

樋口勝彦・藤井昇『詳解ラテン文法』、研究社、2008 年、第 16 課まで。授業の初日までに取得し、持参すること。
10. 授業時間外学習：授業内容を復習し、練習問題の解答を準備する。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし

科目名：ラテン語／ Latin

曜日・講時：後期 金曜日 3講時

セメスター：4 単位数：2

担当教員：宮崎 正美

コード：LB45303, 科目ナンバリング：LHM-OFL202J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：ラテン語初級2
2. Course Title (授業題目)：Elementary Latin 2
3. 授業の目的と概要：前期で学んだ内容に基づいて、基本的なラテン語文法の習得を完成する。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：Completion of basic Latin grammar acquisition based on the course in the first semester.
5. 学修の到達目標：(1) ラテン語動詞の多様な用法、文章構成を学ぶこと。
(2) ラテン語原典にふれて読解力がつくようになること。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：(1) The purpose of this course is to help students to learn a variety of uses of the Latin verb, syntax.
(2) Students will develop reading skills and better understand using Latin original texts.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 - 第1回 イントロダクション動詞の態・時制・法の概略、現在幹を基にした不定法現在、命令法
 - 第2回 動詞の「完了」「未完了」、動詞の時制の概観、未完了過去(直説法能動態)、未来(直説法能動態)、sumの未完了過去、未来
 - 第3回 受動態人称語尾、形式受動態語尾(デポネンティア動詞)、命令法受動態
 - 第4回 完了(直説法能動態)、完了幹、過去完了(直説法能動態)、未来完了(直説法能動態)
 - 第5回 分詞(1) 分詞の種類と性格、性・数・格、現在分詞
 - 第6回 分詞(2) 完了分詞、未来分詞、目的分詞
 - 第7回 非人称動詞、不定法(現在、完了、未来)、動名詞
 - 第8回 動形容詞、奪格別句
 - 第9回 接続法(1) 接続法現在(能動態)、単文での用法、接続法の基本用法
 - 第10回 接続法(2) 接続法現在(受動態)、接続法未完了過去(能動態・受動態)、接続法完了(能動態・受動態)、接続法過去完了(能動態・受動態)、
 - 第11回 接続法(3) 時制の対応関係、間接話法(疑問文、命令文)、目的文
 - 第12回 接続法(4) 程度文・結果文、条件文・譲歩文
 - 第13回 原典講読①
 - 第14回 原典講読②
 - 第15回 原典講読③
8. 成績評価方法：

出席日数が総授業数の2/3以上の学生が評価の対象になります。

出席状況(3分の2の出席を単位取得の最低条件とし、残り3分の1を全体の40%に換算)、レポート・試験(60%)、に基づいて評価する。(ただし比重は平均点、偏り、状況等により調整することがある。)
9. 教科書および参考書：

『詳解ラテン文法(新装版)』 樋口勝彦・藤井昇 研究社 2019年

『羅和辞典(改訂版)』 水谷智洋 研究社 2009 9784767490250 参考書

*授業中に独自に作成したプリントを配布、使用する。
10. 授業時間外学習：指定したテキスト(プリント)の該当箇所を読んで、予習しておくこと。
テキストの練習問題を利用して、授業の内容を理解し、例文の文法解析をしておく
Students are required to prepare for the assigned part of the handouts. They also required to review each class using handouts and to analyze example sentences grammatical word by w
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practical business
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし
オンライン授業(Zoom)の場合に、インターネット接続と、対応するアプリケーションがインストール済みのパソコンを必要とします。
If we must use online system (e.g. Zoom), need to your own device with your own account.
連絡先：E-mail：paul-m@tohoku.ac.jp(◎を@に置き換えてください)
この講義は日本語で提供されます。
辞書は参考書としているが、受講のためには必要と考えてほしい。

科目名：サンスクリット語／ Sanskrit

曜日・講時：前期 木曜日 3 講時

セメスター：3 単位数：2

担当教員：笠松 直

コード：LB34304, 科目ナンバリング：LHM-OFL203J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：サンスクリット語基礎演習 I

2. Course Title (授業題目) : Introduction to classical Sanskrit literature I

3. 授業の目的と概要：ランマンの『サンスクリット読本』をテキストとして平易なサンスクリット文の読解演習を行い、サンスクリット語文法・語彙の理解を深める。テキストの語彙集・注記のほか、ホイットニーの文法書を適宜参照しながら読み進める。インド古典文学の理解のため、随時、古代インド文化の概説を行う。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要) : This class aims to deepen understanding of Sanskrit grammar and vocabulary through reading texts in Lanman's A Sanskrit Reader. We will read as much as possible by referring to Whitney's Sanskrit Grammar as well as the textbook's glossary and explanatory notes. And then we outline ancient Indian culture for an understanding of classical Sanskrit literature.

5. 学修の到達目標：平易なサンスクリット語の文章を訳せるようになる。

6. Learning Goals (学修の到達目標) : Students will be able to translate plain Sanskrit texts.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. イントロダクション

2. 『ナラ王物語』第 1 章 (ナラ王とダマヤンティーの生い立ち) 1-3

3. 『ナラ王物語』第 1 章 4-6

4. 『ナラ王物語』第 1 章 7-10

5. 『ナラ王物語』第 1 章 11-14

6. 『ナラ王物語』第 1 章 15-19

7. 『ナラ王物語』第 1 章 20-25

8. 『ナラ王物語』第 1 章 26-32

9. 『ナラ王物語』第 2 章 (婿選びの御触れ) 1-7

10. 『ナラ王物語』第 2 章 8-14

11. 『ナラ王物語』第 2 章 15-21

12. 『ナラ王物語』第 2 章 22-28

13. 『ナラ王物語』第 2 章 29-30, (ナラ王とダマヤンティーの対話) 1-6

14. 『ナラ王物語』第 3 章 7-14

15. 『ナラ王物語』第 3 章 15-22

8. 成績評価方法：

予習 (40%), 授業内容の理解度 (40%) および課題 (20%)

9. 教科書および参考書：

C. R. Lanman, A Sanskrit Reader, W. D. Whitney, Sanskrit Grammar

10. 授業時間外学習：個々の語形を文法的に解析したうえ、指定された部分を訳しておくこと。毎回の授業の復習に十分に時間をかけること。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicate the practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

サンスクリット初級の知識を有すること。冬セメスターのサンスクリット語・サンスクリット語基礎演習 II と合せて受講するのが望ましい。

科目名：サンスクリット語／ Sanskrit

曜日・講時：後期 木曜日 3講時

セメスター：4 単位数：2

担当教員：笠松 直

コード：LB44303, 科目ナンバリング：LHM-OFL203J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：サンスクリット語基礎演習 II
2. Course Title (授業題目)：Introduction to classical Sanskrit literature II
3. 授業の目的と概要：前期に引き続き、ランマンの『サンスクリット読本』をテキストとして読解演習を行い、サンスクリット語の文法・語彙の理解を深める。テキストの語彙集・注記ばかりでなく、ホイットニーの文法書を適宜参照しながら読み進める。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This class, continued from “Sanskrit (Introduction to classical Sanskrit literature I)”, aims to deepen understanding of Sanskrit grammar and vocabulary through reading texts in Lanman’s A Sanskrit Reader. We will read as much as possible by referring to Whitney’s Sanskrit Grammar as well as the textbook’s glossary and explanatory notes.
5. 学修の到達目標：平易なサンスクリット語の文章を訳せるようになる。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：Students will be able to translate plain Sanskrit texts.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 1. インTRODダクション
 2. 『ナラ王物語』第3章23-25, 第4章(ナラ王とダマヤンティーの対話)1-5
 3. 『ナラ王物語』第4章6-13
 4. 『ナラ王物語』第4章14-22
 5. 『ナラ王物語』第4章23-31
 6. 『ナラ王物語』第5章(婿選びの儀式)1-8
 7. 『ナラ王物語』第5章9-18
 8. 『ナラ王物語』第5章19-27
 9. 『ナラ王物語』第5章28-36
 10. 『ナラ王物語』第5章37-46
 11. 『有益な教え(ヒト-バデーシャ)』INTRODUCTION, PROLOGUE I
 12. 『有益な教え』PROLOGUE II
 13. 『有益な教え』PROLOGUE II
 14. 『有益な教え』「老いた虎と旅人」I
 15. 『有益な教え』「老いた虎と旅人」II
8. 成績評価方法：

予習(40%), 授業内容の理解度(40%) および課題(20%)
9. 教科書および参考書：

C. R. Lanman, A Sanskrit Reader, W. D. Whitney, Sanskrit Grammar
10. 授業時間外学習：個々の語形を文法的に解析したうえ、指定された部分を訳しておくこと。毎回の授業の復習に十分に時間をかけること。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:“○”Indicatesthe practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし
サンスクリット初級の知識を有すること。夏セメスターのサンスクリット語・サンスクリット語基礎演習Iと合わせて受講するのが望ましい。

科目名：中国語／ Chinese

曜日・講時：前期 水曜日 2 講時

セメスター：3 単位数：2

担当教員：張 佩茹

コード：LB33207, 科目ナンバリング：LHM-CHN201J, 使用言語：2 カ国語以上

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：中国語中級作文

2. Course Title (授業題目)：Intermediate Mandarin Chinese Writing

3. 授業の目的と概要：一年次で学習した中国語の語彙と基礎文法をベースに、使える表現を増やし、中級レベルの作文力を身につけることを目的とする。基礎文型の復習をしながら、身近な話題で中国語の作文を書く練習をする。中国語らしい表現を体得し、中国語での発信力を磨く。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course is designed for those students who have already completed the learning at the beginner's level and acquired the basic knowledge of Mandarin Chinese pronunciation and grammar. The purpose of this course is to help students improve their writing ability to reach the intermediate level. Along with reviewing basic sentence patterns, students practice writing on familiar topics in Chinese. Through this process, students will become familiar with natural Mandarin Chinese expressions and be able to express themselves better in Mandarin Chinese.

5. 学修の到達目標：身近な話題について、自分の考えを正確に中国語の文章で表現することができる。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：Students will develop the ability to express their ideas accurately on familiar topics when they write in Mandarin Chinese.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

<授業内容・方法>教材の内容に沿って、作文練習をする。

<進度予定>

前期

第1回 ガイダンス

第2回 第1課《自我介绍》文型練習

第3回 第1課《自我介绍》作文練習

第4回 第2課《我们的大学》文型練習

第5回 第2課《我们的大学》作文練習

第6回 第3課《我的家庭》文型練習

第7回 第3課《我的家庭》作文練習

第8回 第1課～第3課の復習

第9回 第4課《我家在四国》文型練習

第10回 第4課《我家在四国》作文練習

第11回 第5課《星期天》文型練習

第12回 第5課《星期天》作文練習

第13回 第6課《我的爱好》文型練習

第14回 第6課《我的爱好》作文練習

第15回 期末まとめ

8. 成績評価方法：

平常点：60%（主に課題）

期末試験：40%

9. 教科書および参考書：

<教科書>『学ぶ中国語—初中級編—』王亜新・劉素英、朝日出版社、2016年

<参考書>『やさしくくわしい中国語文法の基礎 改訂新版』、守屋 宏則ら著、東方書店、2019年

10. 授業時間外学習：予習：教科書の指定箇所を予習しておく。

復習：間違ったところを見直す。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:“○”Indicates the practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

科目名：中国語／ Chinese

曜日・講時：後期 水曜日 2 講時

セメスター：4 単位数：2

担当教員：張 佩茹

コード：LB43208, 科目ナンバリング：LHM-CHN201J, 使用言語：2 カ国語以上

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：中国語中級作文

2. Course Title (授業題目)：Intermediate Mandarin Chinese Writing

3. 授業の目的と概要：一年次で学習した中国語の語彙と基礎文法をベースに、使える表現を増やし、中級レベルの作文力を身につけることを目的とする。基礎文型の復習をしながら、身近な話題で中国語の作文を書く練習をする。中国語らしい表現を体得し、中国語での発信力を磨く。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course is designed for those students who have already completed the learning at the beginner's level and acquired the basic knowledge of Mandarin Chinese pronunciation and grammar. The purpose of this course is to help students improve their writing ability to reach the intermediate level. Along with reviewing basic sentence patterns, students practice writing on familiar topics in Chinese. Through this process, students will become familiar with natural Mandarin Chinese expressions and be able to express themselves better in Mandarin Chinese.

5. 学修の到達目標：身近な話題について、自分の考えを正確に中国語の文章で表現することができる。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：Students will develop the ability to express their ideas accurately on familiar topics when they write in Mandarin Chinese.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

<授業内容・方法>教材の内容に沿って、作文練習をする。

<進度予定>

第1回 ガイダンス

第2回 第7課《旅游》文型練習

第3回 第7課《旅游》作文練習

第4回 第8課《打工》文型練習

第5回 第8課《打工》作文練習

第6回 第9課《买东西》文型練習

第7回 第9課《买东西》作文練習

第8回 第7課～第9課の復習

第9回 第10課《看电视》文型練習

第10回 第10課《看电视》作文練習

第11回 第11課《手机》文型練習

第12回 第11課《手机》作文練習

第13回 第12課「留学」文型練習

第14回 第12課「留学」作文練習

第15回 期末まとめ

8. 成績評価方法：

平常点：60%（主に課題）

期末試験：40%

9. 教科書および参考書：

<教科書>『学ぶ中国語—初中級編—』王亜新・劉素英、朝日出版社、2016年

<参考書>『やさしくくわしい中国語文法の基礎 改訂新版』、守屋 宏則ら著、東方書店、2019年

10. 授業時間外学習：予習：教科書の指定箇所を予習しておく。

復習：間違ったところを見直す。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

科目名：朝鮮語／ Korean

曜日・講時：前期 水曜日 2 講時

セメスター：3 単位数：2

担当教員：権 来順

コード：LB33208, 科目ナンバリング：LHM-KOR201J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：韓国語入門
2. Course Title (授業題目)：Korean for Beginners
3. 授業の目的と概要：韓国語（ハングル）に関する全体像を身につけ、韓国語の読み書きができることをめざす
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：To be familiar with the overall concept of Hangeul, with the aim of being able to read and write Hangeul characters.
5. 学修の到達目標：学習の入り口としてハングル文字の仕組みを理解し、韓国語への興味を持たせることを目的とする。特に日本語にない発音に重点を置き、正確な韓国語の発音を練習する。韓国の文化、風習などの視聴覚資料を使い、基本文法と会話を学ぶ。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：To understand the mechanism of Hangeul characters as an introduction to learning Korean, so as to draw interest in the Korean language. In particular, to focus on pronunciations not found in the Japanese language, and to practise accurate Korean pronunciation. To learn basic grammar and conversation through the use of audio-visual themes such as Korean culture and customs.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 - 1 回：イントロダクション
授業の全般的説明、授業の到達目標、授業計画、成績評価基準・方法、教科書、参考書、事前事後の学修方法などについてガイダンスを行う
 - 2 回：韓国語の基本母音と子音に関して、6 個の基本母音と 5 個の子音【平音】の組み合わせ
 - 3 回：韓国語の基本母音と子音に関して、4 個の基本母音と 5 個の子音【平音】の組み合わせ
 - 4 回：韓国語の基本母音と子音に関して、10 個の基本母音と 4 個の子音【激音】の組み合わせ
 - 5 回：韓国語の基本母音と子音に関して、基本母音 10 個と 5 個の子音【濃音】の組み合わせ
 - 6 回：11 個の複合母音の学習
 - 7 回：一つ文字終声(パッチム)→連音化, 流音化, 有声音化の学習
 - 8 回：二つ文字終声(パッチム)→激音化, 濃音化, 鼻音化の学習、日本語のハングル(韓国語)表記練習
 - 9 回：助詞「～は」と「～です」の表現→「あなたはどこの国の人ですか」など、相手の国籍の尋ねや答え方、自己紹介
 - 10 回：助詞「～は」を用いて「名詞+です」、「名詞+ですか」、「名詞+ではない」の文型を練習
 - 11 回：指示表現と所有表現の学習
 - 12 回：助詞「～を」と動詞の丁寧表現、「～ます、～ています」の学習
 - 13 回：助詞「～に、～も」を用いて位置名詞を学習場所や方向など、位置を表す表現を学び、道や場所を尋ねる練習をする
 - 14 回：助詞「～で」、動詞の否定形を練習
 - 15 回：総まとめと試験
8. 成績評価方法：

筆記試験、出席率、授業時の読み、書きなどの平常点の総合点
9. 教科書および参考書：

鄭世桓、権来順、金永昊、呉正培、張基善 著『バルン韓国語』 朝日出版社(2019 年)、参考資料のプリント配布
10. 授業時間外学習：毎回の内容を復習する
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicatesthe practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし

科目名：朝鮮語／ Korean

曜日・講時：後期 水曜日 2 講時

セメスター：4 単位数：2

担当教員：権 来順

コード：LB43209, 科目ナンバリング：LHM-KOR201J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：韓国語初級
2. Course Title (授業題目) : Elementary Korean
3. 授業の目的と概要：韓国語の読解力と簡単な生活会話をめざす
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要) : To be able to comprehend Korean text and carry out simple everyday conversation.
5. 学修の到達目標：日常生活に必要な語彙や表現力を高め、コミュニケーション能力を養う
6. Learning Goals (学修の到達目標) : To improve vocabulary and expressions necessary for everyday life, and to enhance communication skills.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 - 1 回：イントロダクション
 - 2 回：現在形の用言活用 1 (規則活用)
 - 3 回：現在形の用言活用 II (規則活用)
 - 4 回：現在形の用言活用 (変則活用)
 - 5 回：固有語数詞、時間、買い物、値段などの表現
 - 6 回：過去形の用言活用 1 (規則活用)
 - 7 回：過去形の用言活用 II (規則活用)
 - 8 回：過去形の用言活用 (変則活用)
 - 9 回：願望を表す表現
 - 10 回：意志を表す表現
 - 11 回：目的を表す表現
 - 12 回：格式体敬語表現
 - 13 回：非格式体敬語表現
 - 14 回：意向・意見・勧誘の表現
 - 15 回：総まとめと試験
8. 成績評価方法：

筆記試験、出席率、授業時の読み、書きなどの平常点の総合点
9. 教科書および参考書：

鄭世桓、権来順、金永昊、呉正培、張基善 著『パルン韓国語』 朝日出版社(2019年)、参考資料のプリント配布
10. 授業時間外学習：毎回の内容を復習する
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicate the practical business
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし

科目名：イタリア語 / Italian

曜日・講時：前期 水曜日 4 講時

セメスター：3 単位数：2

担当教員：FONGARO ENRICO

コード：LB33410, 科目ナンバリング：LHM-OFL204J, 使用言語：2カ国語以上

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：イタリア語上級（前期）

2. Course Title (授業題目)：Italian Language (Advanced Level)

3. 授業の目的と概要：この講義では、文法は学生の学習が不完全な部分を補う程度にとどめる。読解や場合によっては翻訳も行なえるように、日常的なことばや本で使用されるような複雑な筋からなる文章の理解に向けた、イタリア語の高度な運用を目指す。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：In this course, the lessons will focus on a high level Italian, aiming to understand everyday expressions and complex sentences used in written Italian, as they occur during reading and translation's exercises. Grammar will not exceed the level of a supplement, if necessary.

5. 学修の到達目標：これまで学んできたイタリア語文法を用いて、さらに高度な読解、翻訳、会話、聞き取りの能力を伸ばし、イタリア文化に関しても学んでいく。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：The course aims to improve the capacity of listening, speaking, translating and reading difficult texts, using grammatical knowledge learnt in the previous courses, and at the same time it provides some information about Italian culture.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

この科目では Classroom を使用して講義資料と講義情報を発信します。

クラスコードは 72jp5nk です。

Classroom にアクセスし、クラスコードを入力してください。

1. 復習。
2. 会話と読解の練習。
3. 小テストと直接法未来形。
4. Gerundio と進行動詞。
5. 会話と読解の練習。
6. 会話と聞き取りの練習。
7. 読解の練習と小テスト。
8. 直接法近過去と反過去その一。
9. 会話と読解の練習。
10. 直接法近過去と反過去その二。
11. 会話と読解の練習。
12. 人称代名詞。
13. 会話と読解の練習。
14. 聞き取り練習とテストの準備。
15. 期末テストとまとめ。

8. 成績評価方法：

会話・作文・翻訳・要約・聞き取りなどを通じて主に講義中に行なう。

9. 教科書および参考書：

講義中に配布する。

10. 授業時間外学習：授業の復習と宿題を行なう。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

科目名：イタリア語／ Italian

曜日・講時：前期 水曜日 5講時

セメスター：3 単位数：2

担当教員：FONGARO ENRICO

コード：LB34305, 科目ナンバリング：LHM-OFL204J, 使用言語：2カ国語以上

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：イタリア語初級（前期）

2. Course Title (授業題目)：Italian Language (Elementary Level)

3. 授業の目的と概要：日常生活で使用される対話表現を題材に、イタリア語特有の発音・リズムや言い回しを身につけ、名詞の性と数、形容詞の変化、定冠詞と不定冠詞、所有形容詞、指示詞、直接法現在の規則動詞といった基礎文法の規則を習得する。同時に習得した文法知識を用いて初歩的な疑問文や否定文をつくり、会話表現の練習を行なう。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：By learning expressions used in everyday life, this course aims first of all to acquire typical Italian pronunciation, rhythm and fixed phrases. The students will learn basic grammatical rules concerning genders and numbers of nouns, forms of adjectives, determinative and indefinite articles, possessive adjectives, demonstrative terms and the indicative present form of regular verbs. At the same time, using the grammatical notions acquired, the students will do speaking exercises using interrogative pronouns and negative sentences.

5. 学修の到達目標：実用イタリア語のための初歩的な文法を習得する。主語・述語・補語にもとづく平易な文章を理解し、簡単な日常会話や挨拶の表現ができる。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：The course aims to acquire the first grammatical rules useful for speaking actively Italian. The students will be able to understand simple phrases based on subject, predicate, complement structures, and to engage easy everyday conversations or greet.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

この科目ではClassroomを使用して講義資料と講義情報を発信します。

クラスコードは lty3rnu です。

Classroomにアクセスし、クラスコードを入力してください。

1. コースの紹介。
2. 発音とアルファベット。
3. 定冠詞・不定冠詞・名詞。
4. 形容詞と挨拶。
5. Essere 不規則動詞の直接法現在形。
6. Avere 不規則動詞の直接法現在形。
7. -are 規則動詞の直接法現在形。
8. 丁寧な表現。
9. 数字と聞き取り練習。
10. 小テストと-ereの規則動詞の直接法現在形。
11. Fare 不規則動詞の直接法現在形と命令形。
12. 復習と聞き取り練習。
13. 疑問詞。
14. 小テストと復習。
15. 期末テストとまとめ。

8. 成績評価方法：

積極的な授業態度、小テストおよび学期末試験。

9. 教科書および参考書：

なし、授業資料をClassroomにアップするので事前にプリントアウトすること

10. 授業時間外学習：授業の復習と宿題を行なう。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

辞書を必ず用意すること。詳細については授業初回に指示する。

科目名：イタリア語／ Italian

曜日・講時：前期 木曜日 4 講時

セメスター：3 単位数：2

担当教員：FONGARO ENRICO

コード：LB34402, 科目ナンバリング：LHM-0FL204J, 使用言語：2カ国語以上

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：イタリア語中級（前期）

2. Course Title (授業題目)：Italian Language (Intermediate Level)

3. 授業の目的と概要：これまでに学習した初級文法を復習しながら、引き続き実用イタリア語のための基礎文法を身につける。日常生活の様々な場面に対応する会話表現や文章例を題材に、命令法、半過去形、未来形、比較級と最上級などの中級文法の規則を習得する。同時に、文法知識を用いた実践的な会話練習を行ないながら、イタリア語文章の読解力・翻訳能力・作文能力を養う。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：While brushing up on grammar learnt until now, the students will acquire new basic grammatical knowledge useful for practical Italian. The students will learn new rules concerning imperative, imperfect, future, comparative, superlative and so on, as contained in model sentences and colloquial expressions often used in everyday circumstances. At the same time, while training in conversations their grammatical acquisition, the students will improve their reading, translating and writing skills.

5. 学修の到達目標：実用イタリア語のための基礎文法を習得し、異なる語法や動詞の時制をはじめとする、より複雑なイタリア語の文章を理解し、明確かつ発展的に表現することができる。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：This course aims to acquire some basic grammatical knowledge useful for everyday Italian, to understand quite complex sentences including expressions and verb tenses different from the Japanese ones, and to become able to speak in a clear and understandable way.

7. 授業の内容・方法と進捗予定：

この科目では Classroom を使用して講義資料と講義情報を発信します。

クラスコードは 3gcxfa7 です。

Classroom にアクセスし、クラスコードを入力してください。

1. 復習。
2. Dov'è? C'è? の使い方。
3. Quanto costa? と会話の練習。
4. Potere 不規則動詞の直接法現在形とその使い方。
5. Venire 不規則動詞の直接法現在形。
6. 読解の練習と復習。
7. 小テストと Stare 不規則動詞の直接法現在形。
8. 聞き取り練習と非人称動詞。
9. Volere 不規則動詞の直接法現在形とその使い方。
10. 直接法近過去その一。
11. 直接法近過去その二。
12. 小テストと会話の練習。
13. 直接法近過去その三。
14. 代名詞と会話の練習。
15. 期末テストとまとめ。

8. 成績評価方法：

積極的な授業態度、小テストおよび学期末試験。詳しくは授業中に指示する。

9. 教科書および参考書：

なし、授業資料を Classroom にアップするので事前にプリントアウトすること。

10. 授業時間外学習：授業の復習と宿題を行なう。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

辞書を必ず用意すること。

科目名：イタリア語／ Italian

曜日・講時：後期 水曜日 4 講時

セメスター：4 単位数：2

担当教員：MARINUCCI LORENZO

コード：LB43409, 科目ナンバリング：LHM-OFL204J, 使用言語：2カ国語以上

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：イタリア語上級

2. Course Title (授業題目) : Advanced Italian

3. 授業の目的と概要：文法と語彙のさらなる習得を目指しながら、イタリア語を授業時間外でも積極的に使うための方法を紹介する。

ますます（より）複雑な会話や作文によって、自分の趣味、意見、研究的な興味もイタリア語で表現できるようになることを目指す。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要) : As the grammar and vocabulary of the students is further widened, the course will give them ways and stimuli to keep learning Italian outside of the classroom time. Through increasingly complex conversation and writing assignments, the students will become able to discuss about their hobbies, their ideas, and their academic interests.

5. 学習の到達目標：学んできたイタリア語文法を駆使し、さらに高度な読解、翻訳、会話、聞き取りの能力を伸ばし、音楽と映画によってもイタリア文化に関しても学んでいく。

6. Learning Goals(学修の到達目標) : By fully using the grammatical competences acquired until now, the students will approach even more difficult texts, translations, conversation and listening exercises, while approaching Italian culture also through music and movies.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. 等級テスト
2. 会話と読解の練習。
3. 小テストと直接法未来形。
4. 進行動詞と gerundio の使用
5. 会話と読解の練習。
6. 曲の聞き取り、歌詞分析
7. 翻訳の小テスト
8. passato remoto の過去形
9. 会話と読解の練習。
10. 動詞文法のまとめ
11. 作文・自分の趣味
12. イタリア語での映画
13. 映画でまとめた文法・単語。
14. 聞き取り練習とテストの準備。
15. 期末テストとまとめ。

8. 成績評価方法：

クラスでの積極的な参加、学期末試験

9. 教科書および参考書：

長神悟『イタリア語の ABC』[改訂版]《CD 付》 *授業毎にプリントアウトしたものを配布します。その他音楽、映画。

10. 授業時間外学習：作文、練習問題、翻訳

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

科目名：イタリア語／ Italian

曜日・講時：後期 木曜日 3 講時

セメスター：4 単位数：2

担当教員：MARINUCCI LORENZO

コード：LB44304, 科目ナンバリング：LHM-0FL204J, 使用言語：2カ国語以上

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：イタリア語初級

2. Course Title (授業題目)：Italiano Principianti

3. 授業の目的と概要：日常的な表現と主題から、イタリア語の発音や基礎的な文法の習得を目指す。名詞の性や数、冠詞、動詞の時制（現在・過去）、代名詞をつかえるようになりながら、会話、団体ゲーム、簡単な作文によって練習する。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：The course aims at offering a solid basis of the Italian language, beginning from its phonetics and fundamental grammar. As the students will become familiar with names, their number and gender, articles, verb grammar (present and past) and pronouns, the study will progress through conversation, games and the production of simple texts.

5. 学習の到達目標：授業の目標は基礎的なイタリア語の適用である。日常的な会話に使えるような表現を習得し、簡単な読解ができるようになる。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：The aim of the course is the correct application of the basics of Italian language. We will focus on apprehending expressions used in everyday context, but there beginner level reading comprehension will also be included.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. 授業紹介・挨拶から
3. 冠詞と名詞。
4. 形容詞の二種類
5. Essere
6. Avere
7. 規則動詞入門
8. 不規則動詞入門
9. 数字、時間、日付
10. 中間テスト
11. 過去形入門
12. 副詞の種類
13. 疑問詞。
14. 小テストと復習。
15. 期末テストとまとめ。

8. 成績評価方法：

クラスでの積極的な参加、学期末試験

9. 教科書および参考書：

長神悟『イタリア語の ABC』[改訂版]《CD 付》 *授業毎にプリントアウトしたものを配布します。

10. 授業時間外学習：作文、文法の練習

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

科目名：イタリア語／ Italian

曜日・講時：後期 木曜日 4 講時

セメスター：4 単位数：2

担当教員：MARINUCCI LORENZO

コード：LB44307, 科目ナンバリング：LHM-OFL204J, 使用言語：2カ国語以上

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：イタリア語中級

2. Course Title (授業題目)：Italiano intermedio

3. 授業の目的と概要：これまで会得した初級文法と会話表現を復習しながら、新しい文法を紹介し、語彙力を高めることが目的である。動詞を中心に文法を学びながら、イタリア文化や時事問題について会話する練習をしたり、自分の関心や研究対象に関する会話や作文の練習を行う。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：Building on the basis hitherto acquired, the course will introduce new grammar and widen the vocabulary of the students. We will progress with verbal grammar, discuss on basic topics relative to Italian culture and its news, and there will be spoken and written exercises relative to the student's interests and field of study.

5. 学習の到達目標：各自の関心にイタリア語学習を関連させ、自分自身のことをイタリア語で表現できるようになる。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：The course aims at strengthening the grammatical basis, and to offer to the students different ways of connecting the study of Italian to their interests, in order for them to begin expressing themselves.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. 紹介、復習テスト
2. 過去と将来 直接法近過去その一
3. 旅行の単語・方向と前置詞
4. Potere 不規則動詞の直接法現在形とその使い方。
5. Venire 不規則動詞の直接法現在形。
6. 自分の趣味・読解と作文
7. 小テストと gerundio
8. 非人称動詞。
9. Volere と Vorrei (条件法現在)
10. Potere と Sapere と riuscire
11. 近過去と半過去
12. 小テストと会話の練習。
13. 近過去と半過去 2
14. 作文の練習。
15. 期末テストとまとめ。

8. 成績評価方法：

クラスでの積極的な参加、学期末試験

9. 教科書および参考書：

長神悟『イタリア語の ABC』[改訂版]《CD 付》 *授業毎にプリントアウトしたものを配布します。

10. 授業時間外学習：教科書からの練習問題、短い作文

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

科目名：専門中国語／ Advanced Chinese

曜日・講時：前期 火曜日 3 講時

セメスター：3 単位数：2

担当教員：張 佩茹

コード：LB32307, 科目ナンバリング：LHM-CHN202J, 使用言語：2 カ国語以上

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：中国語中級読解
2. Course Title (授業題目)：Intermediate Mandarin Chinese Reading
3. 授業の目的と概要：中国語の初級科目で習得した語彙や文法知識を応用し、中級レベルの文章を読み解く練習をする。やや分かりにくい表現があっても、前後の文脈で考えられる解釈を推測する力を磨く。能動的に文章を理解する力を身につけることを目的とする。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course is designed for students to apply the knowledge of vocabulary and grammar that they learned at the beginner's level to read texts at the intermediate level. Even if there are some difficult expressions, students learn how to comprehend them with the help of the contexts. This course helps students to gain the ability to read and understand texts actively.
5. 学修の到達目標：現代中国語のエッセイや新聞記事を正確に読み解く。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：Students will develop the ability to read essays or news written in modern Mandarin Chinese with accuracy.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
＜授業内容・方法＞受講生が指定された箇所をあらかじめ和訳したうえで授業に臨む。授業では意味の確認のほか、関連文法ポイントの練習もする。
＜進度予定＞
第1回 ガイダンス
第2回 第一課本文：入学
第3回 第一課練習問題
第4回 第二課本文：祝日手当て
第5回 第二課練習問題
第6回 第三課本文：お母さん
第7回 第三課練習問題
第8回 第四課本文：先払い
第9回 第四課練習問題
第10回 第五課本文：贈り物
第11回 第五課練習問題
第12回 第六課本文：地方出身者
第13回 第六課練習問題
第14回 新聞記事の読解練習①
第15回 期末まとめ
8. 成績評価方法：
平常点：60% (授業態度、小テスト、課題など)
期末試験：40%
9. 教科書および参考書：
＜教科書＞『大学生のための現代中国 12 話・Ⅲ』杉野元子等、白帝社、2012 年
＜参考書＞『やさしくくわしい中国語文法の基礎 改訂新版』、守屋 宏則ら著、東方書店、2019 年
10. 授業時間外学習：予習：本文の内容をあらかじめ翻訳しておくこと。
復習：学習した内容をもう一度読み返し、すべて問題なく理解できたかを確認する。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし
成績評価における平常点の割合が高いため、普段の授業時に積極的な授業態度が求められる。

科目名：専門中国語／ Advanced Chinese

曜日・講時：後期 火曜日 3 講時

セメスター：4 単位数：2

担当教員：張 佩茹

コード：LB42307, 科目ナンバリング：LHM-CHN202J, 使用言語：2 カ国語以上

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：中国語中級読解
2. Course Title (授業題目)：Intermediate Mandarin Chinese Reading
3. 授業の目的と概要：中国語の初級科目で習得した語彙や文法知識を応用し、中級レベルの文章を読み解く練習をする。やや分かりにくい表現があっても、前後の文脈で考えられる解釈を推測する力を磨く。能動的に文章を理解する力を身につけることを目的とする。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course is designed for students to apply the knowledge of vocabulary and grammar that they learned at the beginner's level to read texts at the intermediate level. Even if there are some difficult expressions, students learn how to comprehend them with the help of the contexts. This course helps students to gain the ability to read and understand texts actively.
5. 学修の到達目標：現代中国語のエッセイや新聞記事を正確に読み解く。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：Students will develop the ability to read essays or news written in modern Mandarin Chinese with accuracy.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
＜授業内容・方法＞受講生が指定された箇所をあらかじめ和訳したうえで授業に臨む。授業では意味の確認のほか、関連文法ポイントの練習もする。
＜進度予定＞
第1回 第七課本文：三種の神器
第2回 第七課練習問題
第3回 第八課本文：宅配員
第4回 第八課練習問題
第5回 第九課本文：結婚相手を探す
第6回 第九課練習問題
第7回 第十課本文：会食
第8回 第十課練習問題
第9回 第十一課本文：証人
第10回 第十一課練習問題
第11回 第十二課本文：部屋を借りる
第12回 第十二課練習問題
第13回 新聞記事の読解練習②
第14回 新聞記事の読解練習③
第15回 期末まとめ
8. 成績評価方法：
平常点：60% (授業態度、小テスト、課題など)
期末試験：40%
9. 教科書および参考書：
＜教科書＞『大学生のための現代中国 12 話・Ⅲ』杉野元子等、白帝社、2012 年
＜参考書＞『やさしくくわしい中国語文法の基礎 改訂新版』、守屋 宏則ら著、東方書店、2019 年
10. 授業時間外学習：予習：本文の内容をあらかじめ翻訳しておくこと。
復習：学習した内容をもう一度読み返し、すべて問題なく理解できたかを確認する。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし
成績評価における平常点の割合が高いため、普段の授業時に積極的な授業態度が求められる。

科目名：専門ドイツ語／ Advanced German

曜日・講時：後期 月曜日 1 講時

semester：4 単位数：2

担当教員：松崎 裕人

コード：LB41102, 科目ナンバリング：LHM-GER201J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：ドイツ語読解力の養成とドイツ語基礎の徹底

2. Course Title (授業題目) : Deutsch besser lesen und verstehen

3. 授業の目的と概要：物語理論の入門書を読みながら、ドイツ語文読解力の養成をはかる。
併せて、ドイツ語辞典や補助教材の使用法に習熟する。
その作業を通して、ドイツ語基礎を確かなものとする。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要) : Lesen der erzähltheoretischen Schriften.
Verwendung der wichtigen Materialien.
Ganz Erlernen elementaren Deutsches.

5. 学修の到達目標：中級ドイツ語の文献を読解することができる。
独和辞典や学習独辞典・特殊辞典を効果的に使うことができる。

6. Learning Goals (学修の到達目標) : Der Student kann Mitteldeutsch gut verstehen.
Der Student kann verschiedene Lexika und Materialien richtig benutzen.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

- 1 ガイダンス
- 2 講読 (1) およびビューチャークンデについて (1)
- 3 講読 (2) およびビューチャークンデについて (2)
- 4 講読 (3)
- 5 講読 (4) および独辞典の活用 (1)
- 6 講読 (5) および独辞典の活用 (2)
- 7 講読 (6)
- 8 講読 (7) とまとめ (1)
- 9 講読 (8) および事典の活用 (1)
- 10 講読 (9) および事典の活用 (2)
- 11 講読 (10)
- 12 講読 (11) およびランデスクンデについて (1)
- 13 講読 (12) およびランデスクンデについて (2)
- 14 講読 (13)
- 15 講読 (14) とまとめ (2)

8. 成績評価方法：

小テスト (不規則動詞の単語テスト) 12 回 (50%)、授業での発表 (50%)

9. 教科書および参考書：

テキスト：

T. Köppe, T. Kindt 『Erzähltheorie. Eine Einführung』 (Reclam UB, 2014)
より抜粋 (プリント配布)

それ以外のテキストや参考文献については開講時に、および適宜、紹介します。

10. 授業時間外学習：毎回、テキスト 1 頁から 1 頁半ほどの十分な準備が必要です。その段階で不明な箇所を洗い出し、それを授業時に確認し、復習によって確かなものとしてください。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

オフィスアワー等については開講時に案内します。

授業形態の変更により進度や成績評価方法に変更が生じ得ることがあります。

科目名：専門ドイツ語／ Advanced German

曜日・講時：後期 月曜日 1 講時

semester：4 単位数：2

担当教員：松崎 裕人

コード：LB41102, 科目ナンバリング：LHM-GER201J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：ドイツ語読解力の養成とドイツ語基礎の徹底

2. Course Title (授業題目) : Deutsch besser lesen und verstehen

3. 授業の目的と概要：物語理論の入門書を読みながら、ドイツ語文読解力の養成をはかる。
併せて、ドイツ語辞典や補助教材の使用法に習熟する。
その作業を通して、ドイツ語基礎を確かなものとする。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要) : Lesen der erzähltheoretischen Schriften.
Verwendung der wichtigen Materialien.
Ganz Erlernen elementaren Deutsches.

5. 学修の到達目標：中級ドイツ語の文献を読解することができる。
独和辞典や学習独辞典・特殊辞典を効果的に使うことができる。

6. Learning Goals (学修の到達目標) : Der Student kann Mitteldeutsch gut verstehen.
Der Student kann verschiedene Lexika und Materialien richtig benutzen.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

- 1 ガイダンス
- 2 講読 (1) およびビューチャーケンデについて (1)
- 3 講読 (2) およびビューチャーケンデについて (2)
- 4 講読 (3)
- 5 講読 (4) および独辞典の活用 (1)
- 6 講読 (5) および独辞典の活用 (2)
- 7 講読 (6)
- 8 講読 (7) とまとめ (1)
- 9 講読 (8) および事典の活用 (1)
- 10 講読 (9) および事典の活用 (2)
- 11 講読 (10)
- 12 講読 (11) およびランデスクンデについて (1)
- 13 講読 (12) およびランデスクンデについて (2)
- 14 講読 (13)
- 15 講読 (14) とまとめ (2)

8. 成績評価方法：

小テスト (不規則動詞の単語テスト) 12 回 (50%)、授業での発表 (50%)

9. 教科書および参考書：

テキスト：

T. Köppe, T. Kindt 『Erzähltheorie. Eine Einführung』 (Reclam UB, 2014)
より抜粋 (プリント配布)

それ以外のテキストや参考文献については開講時に、および適宜、紹介します。

10. 授業時間外学習：毎回、テキスト 1 頁から 1 頁半ほどの十分な準備が必要です。その段階で不明な箇所を洗い出し、それを授業時に確認し、復習によって確かなものとしてください。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

オフィスアワー等については開講時に案内します。

授業形態の変更により進度や成績評価方法に変更が生じ得ることがあります。

科目名：専門フランス語／ Advanced French

曜日・講時：前期 月曜日 4 講時

セメスター：3 単位数：2

担当教員：平手 伸昭

コード：LB31406, 科目ナンバリング：LHM-FRE201J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：フランス文学購読
2. Course Title (授業題目)：Reading French literature
3. 授業の目的と概要：フランス人作家（ル・クレジオ）による平易で明晰なフランス語を読解することで、フランス語表現への理解を深めるとともに読解に必要なスキルを身につける。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：Reading easy and clear texts written by J.M.G Le Clézio will provide excellent examples to follow. Participants will be able to acquire both skills of expression and reading.
5. 学修の到達目標：専門課程への準備となるより高度な読解力を身につけることができる。
6. Learning Goals (学修の到達目標)：You will master intermediate-level French reading.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 1. ガイダンス 2. 読解(1) 3. 読解(2) 4. 読解(3) 5. 読解(4) 6. 読解(5) 7. 読解(6) 8. 読解(7) 9. 読解(8) 10. 読解(9) 11. 読解(10) 12. 読解(11) 13. 読解(12) 14. 読解(13) 15. 読解(14)
8. 成績評価方法：

授業への取り組みによって評価します（100%）。毎回、授業参加者に和訳をしてもらうので、その取り組みを評価します。
9. 教科書および参考書：

教科書：ル・クレジオ著 『パヴァーナ』 中地義和 編注 朝日出版社 1994 年初版
10. 授業時間外学習：1 回の授業で 3 ページほどのフランス語を読みますので、参加者は該当箇所の下調べをし、和訳ができる状態で授業に参加する必要があります。
11. 実務・実践的授業/Practical business
 - ※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business
 - 《実務・実践的授業/Practical business》
12. その他：なし

科目名：専門フランス語／ Advanced French

曜日・講時：後期 水曜日 5 講時

セメスター：4 単位数：2

担当教員：MEVEL YANN ERIC

コード：LB43503, 科目ナンバリング：LHM-FRE201J, 使用言語：英語以外の外国語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：Expression française orale et écrite
2. Course Title (授業題目)：Expression française orale et écrite
3. 授業の目的と概要：Le cours prendra plusieurs formes. Il permettra :
 - la lecture de divers types de textes
 - l'audition de documents sonores
 - une analyse de documents visuels
 - des discussions sur des sujets de société
 - des jeux de rôles
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：Le cours prendra plusieurs formes. Il permettra :
 - la lecture de divers types de textes
 - l'audition de documents sonores
 - une analyse de documents visuels
 - des discussions sur des sujets de société
 - des jeux de rôles
5. 学修の到達目標：A l'oral comme à l'écrit, le cours permettra :
 - d'enrichir le vocabulaire et de consolider la syntaxe
 - d'augmenter les capacités d'argumentation
 - d'améliorer les capacités de compréhensionLe cours aidera aussi à découvrir la vie quotidienne en Fr
6. Learning Goals (学修の到達目標)：A l'oral comme à l'écrit, le cours permettra :
 - d'enrichir le vocabulaire et de consolider la syntaxe
 - d'augmenter les capacités d'argumentation
 - d'améliorer les capacités de compréhensionLe cours aidera aussi à découvrir la vie quotidienne en France, ses codes et usages.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 - 1) Introduction
 - 2) Expression orale et écrite
 - 3) Expression orale et écrite
 - 4) Expression orale et écrite
 - 5) Expression orale et écrite
 - 6) Expression orale et écrite
 - 7) Expression orale et écrite
 - 8) Expression orale et écrite
 - 9) Expression orale et écrite
 - 10) Expression orale et écrite
 - 11) Expression orale et écrite
 - 12) Expression orale et écrite
 - 13) Expression orale et écrite
 - 14) Expression orale et écrite
 - 15) Expression orale et écrite
 - 16) Projection de film. Analyse et discussion
8. 成績評価方法：

Une participation à tous les cours est nécessaire. La participation à l'oral compte pour 50%. L'évaluation sera aussi écrite (rédaction de plusieurs textes brefs).
9. 教科書および参考書：

Le manuel sera choisi en fonction du niveau des étudiants présents.
10. 授業時間外学習：Des exercices permettront de revoir du vocabulaire ou des points de grammaire. Il faudra aussi rédiger des textes brefs en relation avec l'objet du cours.
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし

科目名：漢文講読／ Chinese Classics (Reading)

曜日・講時：前期 金曜日 3講時

セメスター：3 単位数：2

担当教員：高橋 亨

コード：LB35304, 科目ナンバリング：LHM-LIT226J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：漢文訓読入門（文法編）
2. Course Title (授業題目)：An introduction to reading classical Chinese texts in ancient Japanese.
3. 授業の目的と概要：この講義では、漢文の構造を体系的に理解し、漢文の読解力を向上させるために必要な文法に関する知識を習得することを目的とし、文型・句形・送り仮名などの性格、それら相互の関係、及び実際の用いられ方を学ぶ。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course deals with classical Chinese grammar. It also enhances the development of student's skills in reading classical Chinese texts in ancient Japanese.
5. 学修の到達目標：受講生は本講義を通して、教育現場や専門分野に応用し得る漢文訓読の基礎的な知識を習得できるようになる。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：Students will develop the abilities necessary in academic and academic activities, such as reading classical Chinese texts in ancient Japanese.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
[内容・方法]
文法事項の解説とテキストの読解を行う。具体的には、授業の前半で個別の文法事項について解説し、後半で出席者とともにテキストの書き下し文と現代日本語訳の作り方を討論する。
[進度予定]
第01講 訓点と文型
第02講 再読文字
第03講 使役形
第04講 受身形
第05講 否定形（1）
第06講 否定形（2）
第07講 否定形（3）
第08講 疑問形・反語形（1）
第09講 疑問形・反語形（2）
第10講 疑問形・反語形（3）
第11講 比較形
第12講 限定形・累加形
第13講 抑揚形
第14講 仮定形
第15講 期末試験
8. 成績評価方法：
出席状況（50%）、期末試験（50%）
9. 教科書および参考書：
教材は授業中に配布する。参考書は授業中に紹介する。
Texts are handed out at the beginning of the course.
10. 授業時間外学習：授業中に配布する教材について予習を行う。
Students are required to prepare a text.
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし
オフィスアワーは中国思想中国哲学研究室（617）で毎週金曜日12：15～12：45とする。
Office hours are from 12:15 to 12:45 on Fridays at the Laboratory of Chinese philosophy, Room617.

科目名：漢文講読／ Chinese Classics (Reading)

曜日・講時：後期 金曜日 3 講時

セメスター：4 単位数：2

担当教員：高橋 亨

コード：LB45304, 科目ナンバリング：LHM-LIT226J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：漢文訓読入門（故事成語編）
2. Course Title (授業題目) : An introduction to reading classical Chinese texts in ancient Japanese.
3. 授業の目的と概要：この講義では漢文の読解力を向上させることを目的として、故事成語の出典となるテキストを読解し、それに関連する知識を習得をも目指す。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要) : This course deals with idioms derived from historical events or classical literature of China. It also enhances the development of student's skills in reading classical Chinese texts in ancient Japanese.
5. 学修の到達目標：受講生は本講義を通して、教育現場や専門分野に応用し得る漢文訓読の基礎的な知識を習得できるようになる。
6. Learning Goals (学修の到達目標) : Students will develop the abilities necessary in academic and academic activities, such as reading classical Chinese texts in ancient Japanese.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
[内容・方法]
故事成語に関連するテキストを読解する。具体的には、出席者とともにテキストの書き下し文と現代日本語訳の作り方を検討する。
[進度予定]
第 01 講 故事成語 (1)
第 02 講 故事成語 (2)
第 03 講 故事成語 (3)
第 04 講 故事成語 (4)
第 05 講 故事成語 (5)
第 06 講 故事成語 (6)
第 07 講 故事成語 (7)
第 08 講 故事成語 (8)
第 09 講 故事成語 (9)
第 10 講 故事成語 (10)
第 11 講 故事成語 (11)
第 12 講 故事成語 (12)
第 13 講 故事成語 (13)
第 14 講 故事成語 (14)
第 15 講 期末試験
8. 成績評価方法：
出席状況 (50%)、期末試験 (50%)
9. 教科書および参考書：
教材は授業中に配布する。参考書は授業中に紹介する。
Texts are handed out at the beginning of the course.
10. 授業時間外学習：授業中に配布する教材について予習を行う。
Students are required to prepare a text.
11. 実務・実践的授業/Practical business
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business
《実務・実践的授業/Practical business》
12. その他：なし
オフィスアワーは中国思想中国哲学研究室 (617) で毎週金曜日 12:15~12:45 とする。
Office hours are from 12:15 to 12:45 on Fridays at the Laboratory of Chinese philosophy, Room 617.